

同志社大学 ITEC / STEP ・ 次世代大学教育研究会 主催  
ケンブリッジ大学 ・ 日立ヨーロッパ 協賛

## イノベーション戦略 国際シンポジウム

### International Symposium on Innovation Strategy (ISIS 2008)

#### 同時開催

#### 第5回技術起業家養成プログラム 第28回次世代大学教育研究会

- 趣旨

かつて日本には、物質・デバイス・IT研究の世界に、企業を超えた「共鳴場」が生まれようとしたことがあった。互いの力を認めあった多数の企業研究者が、日本のイノベーションを推し進め未踏分野を切り開くために、組織を超えて「知」を共鳴的にやりとりしあった時代があったのである。それは、「オープン・イノベーション」を超えた確かなものであった。

しかし1990年代後半以後、企業研究の縮小均衡の中でそれは壊れた。そして企業内の「共鳴場」もその重要性が認識されないまま痛めつけられた。

大企業が新しい産業の未来予想図を描けずに混迷している今こそ、われわれはもう一度、土壌の下にある「知の創造」の果たす重要性を、企業と社会に具体的に示していかなければならない。日本再生に向けて、組織を超えた「共鳴場」をここに再建したいと考える。

幸いにして英国ケンブリッジ大学・オクスフォード大学にはその圧倒的な引力によって、多様な専門を持った資質のある科学者・技術者が、日本の最先端企業から集まってきている。そこで、日本の新産業のあるべき技術・革新経営の姿を描くために、標記シンポジウムをケンブリッジ大学キャンディッシュ研究所においてキックオフすべく開催することとした。

- 日時

2008年9月15日(月) 16日(火) (9時00分開始)

- 開催地

Hitachi Cambridge Laboratory / Microelectronics Research Centre,  
Cavendish Laboratory, University of Cambridge,  
J. J. Thomson Avenue, Cambridge, CB3 0HE, United Kingdom  
[http://www.phy.cam.ac.uk/directions\\_area.php](http://www.phy.cam.ac.uk/directions_area.php)

- 講演 (原則として言語は日本語です)

セッション1 「企業におけるイノベーション戦略の実際」(招待講演)

David Williams 「日立ケンブリッジ研究所における研究(英語)」  
(Laboratory Manager, Hitachi Cambridge Lab)

湯浅貴之 「シャープヨーロッパにおける研究開発」  
(Deputy Managing Director, Sharp Laboratories of Europe)

佐田 豊(予定)(仮)東芝ケンブリッジにおけるイノベーション戦略」  
(Deputy Managing Director, Toshiba Cambridge Res Lab)

都築浩一 「(仮)日立ヨーロッパにおけるイノベーション戦略」  
(CTO, Director of Europe R&D Centre, Hitachi Europe)

Alex Stewart 「ケンブリッジ現象の何が新しいのか(英語)」  
(CEO, Alexander Capital Access)

The Technology Partnership (TTP)

セッション2 「イノベーションの実践的アプローチ」

上里泰生 「医用画像処理分野の技術探索活動～一大学研究グループの  
分析～」(Director, Technology Search Division, Canon Europe)

河野美由紀 「指の静脈パターンを用いた個人認証」  
(日立中央研究所ライフサイエンス研究センタ主任研究員)

半村清孝 「固体光物性に見いだされた量子カオス」  
(日立ケンブリッジ研究所研究員、明治大学特任研究員)

青野友祐 「量子ポイントコンタクトによる位相緩和」  
(茨城大学工学部准教授)

# イノベーション戦略国際シンポジウム (ISIS 2008)

## 第5回技術起業家養成プログラム (STEP 2008) 第28回次世代大学教育研究会

ケンブリッジ大学キャベンディッシュ研究所  
(2008年9月15-16日)

### セッション3 「イノベーションの理論的アプローチ」

山口栄一「イノベーションの構造とイノベーション・ダイアグラム」  
「パラダイム破壊型イノベーションとしての産業革命」  
(同志社大学大学院教授、ケンブリッジ大学客員フェロー)  
阪井和男「創造性の起源と統合化に向けて イノベーション・ダイアグラムによる統合的創造性の可能性-」(明治大学教授)

### セッション4 「共鳴場の創造と共鳴場分析の実際」

永谷研一「組織内の共鳴場と知のイノベーションとは ~個の行動変容とチームの支援の関係を解き明かす~」(ネットマン社長)  
阪井和男「日本型次世代大学の確立を目指す大学教育のイノベーション戦略 大学における共鳴場の組織設計-」  
「事件解決における共鳴場の分析 映画「踊る大捜査線」によるケーススタディ-」(明治大学教授)

### セッション5 「イノベーションのためのeラーニング」

仲林 清「eラーニングと技術イノベーション」  
(メディア教育開発センター教授、長岡技術科学大学客員教授)  
栗山 健「サービスサイエンスの視点からeラーニングを捉える」  
((株)学習研究社デジタルコンテンツ事業部課長)

### セッション6 「サービス・イノベーション」

阪井和男「アイステシス・イノベーションとしてのサービス・イノベーション」(明治大学教授)

#### ● 参加申し込み方法

山口栄一 (ey223@cam.ac.uk) または半村清孝 (kh401@cam.ac.uk) までメールをお送りください。参加費は無料です。(懇親会のみ実費)

#### ● 発起人

山口栄一(同志社大学大学院教授、ケンブリッジ大学客員フェロー)  
阪井和男(明治大学法学部教授)  
半村清孝(日立ケンブリッジ研究所研究員、明治大学特任研究員)

